

…もくじ…

特集1 コミュニティソーシャルワークフォーラム ……2、3
 介護ぬくもり ……4～7
 福祉人材センターニュース ……8、9
 特集2 東日本大震災 インタビュー「被災者支援活動」 ……10
 いきいき山梨ねんりんピック ……12
 ねんりんピック熊本大会 ……13
 ほっとすぼっと 渡辺 光美さん ……14
 福祉施設訪問「あやめの里」 ……15
 福祉の相談窓口 山梨県立こころの発達総合支援センター ……16
 おしらせ ……16

やまなしの 福祉

2011年11月号



みんなでダンス！

いきいき山梨ねんりんピックの「ふれあい芸能フェスティバル」に出演した山梨フィットネス協会L I E N ※12面もご覧ください

発行 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
<http://www.y-fukushi.or.jp/>



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザインで制作した広報です

安心して暮らせる社会づくり



大里地区を実際に歩いて地域の状況を探る参加者



地元の社協のメンバーを交え、将来像について話し合った



ワークショップの結果についてを発表した参加者

安心して暮らせる地域づくりを考える「山梨コミュニティソーシャルワークフォーラム・地域福祉実践研究セミナー」(県社会福祉協議会・日本地域福祉研究所主催)が、このほど甲府・富士屋ホテルなどを会場に開かれました。地域の絆(ぎずな)を、どう再生していくか。3日間にわたる討議の内容を報告します。

絆 再生へ活発な話し合い

課題を出し合う

「みなさん、どんなことに困っていますか。今日は、地域の生活課題について教えてください」

フォーラムの2日目。ワークショップの甲府会場となった大里悠遊館で、全国からやって来た参加者が地元の人たちに問い掛けました。

「子育てをするお母さんたちにとって、交流の場が少ないのが気がかりです」「古くから住んでいる人と新しい住民の関係が、なかなか広がっていかないのですが…」

大里地区社会福祉協議会のメンバーが、問題点を次々と挙げていきます。こうした課題は、地域での助け合いを推進していくための基礎データになります。甲府市南部に位置する大里地区は、かつては水田が

広がる水田地帯でした。その後は新興住宅地として人口が増え続けています。高齢化は進んでいます。市内では65歳以上の人の割合が最も低い地区です。

地域を見て歩く

グループ討議に先立ち、40人余りの参加者はバスと徒歩で地域を一巡。

「ここには近い将来、リニア新幹線の駅ができる、と言われています」

参加者は、こんな説明に耳を傾けながら、今後の地域活動の活性化策に考えを巡らせました。

「地域に暮らす一人ひとりの生活課題について支援する。コミュニティソーシャルワークは、さらに地域の状況を把握し、地域全体の取り組みを支援していくことです」

菱沼幹男さん(日本社会事業大学)のアドバイスを受けながら、参加者は今後の実践方法を探りました。

活性化策を提案

5グループに分かれた検討会では、課題を整理。地域が持っている「強さ」について話し合いました。

「元気なお年寄りをたくさん見かけました」「介護施設が多い」「無尽を通じて情報発信ができそうだ」

参加者は、こうした強みを生かした取り組みについ

てまとめました。

「自治会の加入率を増やすために、若い世帯や企業を巻き込んだ祭りを提案します」

「孫部」をつくって社協活動をさらに活性化させよう」

最終日は、地域の住民活動から漏れた人たちを取り込む企画案が発表され、評価を受けていました。



地域活動をテーマにしたリレートーク

地域の活動を報告

初日は、「山梨の住民活動と地域福祉」をテーマにしたリレートークが行われました。

甲府市愛育連合会名誉会長の牛奥久代さんは、愛育活動を振り返って、「地道な取り組みから信頼関係が生まれた」と話しました。障害者支援施設白樺園の山西孝さんは、利用者の二

ーズを反映したサービス拡大について説明。小菅村社会福祉協議会、デイサービスセンター所長の青柳ひとみさんは、既存のサービスから漏れる人々への新たな支援策などを紹介しました。

コーディネーターの神山裕美県立大准教授は「住民主体の助け合いの仕組みが生まれてきた」と総括しました。

日本地域福祉研究所の大橋謙策理事長は、3日間にわたるワークショップとセミナーを総括。地域ソーシャルワーク（CSW）の重要性を訴えました。

「地域福祉」は、児童福祉、老人福祉、障害者福祉を横断的に再編成する社会福祉の新しい考え方です。実践するには新しいサービスシステムの構築が必要になります。



大橋 謙策さん

特定非営利活動法人
日本地域福祉研究所理事長

生きる力引き出そう

具体例を挙げると、生活保護を受ける人が増え、社会問題になっています。しかし、生活保護費を支給するだけで、すべてを解決できるでしょうか。

例えば「生活のしづらさの改善」とか「労働意欲を、どう支援していくか」といった点です。多方面からソーシャルワーク的支援をしていかなければ、問題の解決につながりません。ソーシャルワークとは、その人の生きる意欲を引き出す力になります。

地方自治体は、地域の二

CSWの重要性を訴える

ーズに即した社会福祉計画を策定しなければなりません。コミュニティソーシャルワークは、そうした市町村の計画づくりを推進する側面と、住民の意識を高めていく側面を持っています。

ソーシャルワークは、気配りと手間ひまかけることが重要です。地域に入って問題を発見し、整理し、住民がやる気を起こすようなヒントを提示する。ワークショップは、その一つの方法。新しいサービスを企画・開発していくため、継続してほしい。

高齢者への理解深め プラン作成に生かす

疑似体験指導者養成研修

県立介護実習普及センターは、『高齢者疑似体験セット』を貸し出しています。対象は高齢者疑似体験指導者養成研修を修了した方です。疑似体験では、腕や脚などに重りなどを装着し、80歳になった高齢者の状態を体験してもらいます。身体的な不便さを体験するだ

ましよう。今年研修内容を紹介します。

「今日は何が起こる

は、トクジさんが長年つけ

けました。

けでなく、高齢者に対する理解をより深めたプランづくりができる指導者の養成をめざしています。

特徴について学びます。指導者として、どう体験者に伝えるか、その経験を何に結びつけていくか、ヒント見つけます。

日常の生活ぶりを見学させてもらいました。居間で椅子に座って、ヘルパーや家族と歓談するトクジさん。103歳という年齢をまったく感じさせません。

高齢者疑似体験を自ら企画・指導する場面をイメージして演習。グループごとにテーマを決め、準備から実施・振り返りまでの段取りを話し合いました。それを発表し、アドバイスを受



自宅を訪れた知り合いと歓談する平井トクジさん(中央)



研修に参加した人を握手で迎えた



高齢者の体の特徴などを学ぶ参加者

●103歳に学ぶ

〈1日目〉

・講義 高齢者の心身の

特徴について学びます。指導者として、どう体験者に伝えるか、その経験を何に結びつけていくか、ヒント見つけます。

・対話

今年も北杜市大泉町の平井トクジさん(103歳)の自宅『百寿舎(ひやくじゅしゃ)』を訪れました。

た。

「今日は何が起こる

は、トクジさんが長年つけ

けました。

の?」。興味津々の様子で、トクジさんは私たちを笑顔で迎えてくれました。

参加者は、年を取っても

日常の生活ぶりを見学させてもらいました。居間で椅子に座って、ヘルパーや家族と歓談するトクジさん。103歳という年齢をまったく感じさせません。

高齢者疑似体験を自ら企画・指導する場面をイメージして演習。グループごとにテーマを決め、準備から実施・振り返りまでの段取りを話し合いました。それを発表し、アドバイスを受

〈2日目〉

高齢者疑似体験を自ら企画・指導する場面をイメージして演習。グループごとにテーマを決め、準備から実施・振り返りまでの段取りを話し合いました。それを発表し、アドバイスを受

高齢者疑似体験を自ら企画・指導する場面をイメージして演習。グループごとにテーマを決め、準備から実施・振り返りまでの段取りを話し合いました。それを発表し、アドバイスを受

不安募り意欲失う疑似体験

●現場訪問

研修を修了した人は、どのように疑似体験セットを利用しているのでしょうか。

研修の新人や中途採用職員
の研修に使っているそうで

るお年寄りの邪魔にならない
よう、隅っこで声もかけ
てもらえず、長時間過ごす

てくるし、時間が分からず
に辛かった「じっとしてい
るのもストレス。肩は凝り
イライラしてきた」

これは、約1時間半たっ
た時の感想です。
指導者は「乱暴な態度で
体験者に接するようにして
います。利用者がしてほし
くない介護を実際に体験す
ることで、利用者の立場に
立った介護ができる人材に
育ててほしい」と話してい
ました。

県立介護実習普及センタ
ーは、高齢者の目線で接客
や店舗の工夫ができるよ
う、高齢者疑似体験セット
の利用を広く呼びかけてい
ます。当センター（電話0
55・254・8680）
まで、気軽にお問い合わせ
ください。

甲府市若松町にある「共
立介護福祉センター わか
まつ」を訪問しました。グ
ループホームやデイサービ
ス、シヨートステイなど各

座ったり。施設を利用す
うと思った「手足はしびれ
ました。

たようです。
「周りがよく見えないの
で、ついうとうとしてしま
う」「声をかけてもらえない
ので不安が強くなって、こ
のままでは生きる意欲を失
うと思っ

た指導者は「乱暴な態度で
体験者に接するようにして
います。利用者がしてほし
くない介護を実際に体験す
ることで、利用者の立場に
立った介護ができる人材に
育ててほしい」と話してい
ました。

県立介護実習普及センタ
ーは、高齢者の目線で接客
や店舗の工夫ができるよ
う、高齢者疑似体験セット
の利用を広く呼びかけてい
ます。当センター（電話0
55・254・8680）
まで、気軽にお問い合わせ
ください。



疑似体験セットの装着



ゴーグルや重りを着けて買い物を体験



グループごとに疑似体験の方法を話し合った



「共立介護福祉センター わかまつ」での研修の様子

行動範囲を広げる電動四輪車

電動四輪車は、最近使用する方が増えています。製造するメーカーも多く、使用される台数も急激に多くなっています。

高齢者や障害者が日常的に行う買い物や通院など、屋外で利用する場合が目立ちます。また、前にかが付いたものもあり、買い物用としての利便性も備えています。

走行能力は、最高速度が時速6km。連続走行距離は約21kmから33kmです。運転免許は必要ありません。アクセルレバーを押せば進み、離せば止まります。後進することも可能です。電気です。後進することも可能です。電気です。動くので、充電はコンセントを使って行います。

高齢者から障害者まで幅広く使用されるために、さまざまな使用環境に合わせた操作訓練が必要になります。電動四輪車は介護保険の貸与の対象になっていますので、購入する前にケアマネジャーに相談すると良いでしょう。

県立介護実習普及センターの展示品の中から電動四輪車を紹介します。お問い合わせは、当センター（電話055・254・8680、FAX055・254・8690）まで。

商品名 本格4輪セニアカー ET4D

価格 348,000円（非課税）

特徴 速度は、時速2kmから6kmで、一度の充電で約33kmを走行します。使用者の最大体重（積載物を含む）は100kgです。ヘッドライトに加えて、常時点滅する白色LEDが装備されています。ハンドル中央にあるノブで最高速度が調整できます。後方には車体を持ち上げる時のハンドルが付いています。



商品名 遊歩 パートナー

価格 378,000円（非課税）

特徴 速度は、時速0.5kmから6kmで、一度充電すると約29km走ります。シートが回転し、乗り降りがスムーズに行えます。音声案内も付いていて、進路や充電情報などを声で教えてくれます。タイヤはパンクの心配がないので、安心して外出できます。



介護機器など一堂に

東京で 国際展 **大震災応援コーナーも**

介護機器や福祉車両などを一堂に集めた「第38回国際福祉機器展H・C・R・2011」が10月5日から3日間、東京ビッグサイトで開催されました。

13の国と地域から約510社が出展。2万点に及ぶ福祉機器が展示されました。



被災地支援のために設けられた特別コーナー

介護めぐもり

お知らせ

今年3月の東日本大震災に関連して、特別コーナーが設けられました。「被災地応援コーナー」では、被災地の障害者や福祉施設を支援するため、岩手・宮城・福島

の東北3県を中心とした社会就労センターで作った製品が販売されました。また、「ふくしの防災・避



多くの福祉車両が展示された

難用品コーナー」には、福祉施設向けの防災用品や、被災地で役立つ福祉機器が展示され、多くの人たちでにぎわっていました。展示以外にも、携帯電話やタブレット型パソコンなど身近にあるテクノロジを活用した「介護スキルアップ講座」や「国際シンポジウム」、「ふくしのスキルアップ講座」などが開催されました。期間中の来場者

は約11万8000人に上りました。次回の国際福祉機器展は平成24年9月26日から28日まで、同じく東京ビッグサイトにおいて開催する予定になっています。国際福祉機器展や福祉機器に関する情報は、保健福祉広報協会のホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。
(<http://www.hcr.or.jp>)

図書紹介



監修 長谷川 和夫
企画・編集 服部 安子
発行 社会福祉法人浴風会 ケアスクール

認知症の人が自分らしく生きていくためには、周りの人の関わりがとても大切になります。周りの人々が適切に関わることで、認知症の人は自信と落ち着きを取り戻し、住みなれた自宅や地域、あるいは



高齢者施設で安心して暮らす事ができます。このDVDは、認知症を正しく理解し、より良い関係を築いていく一助となるように製作されました。「認知症への理解」「認知症ケアに対する介護者の意識改革」「地域での支えあい」を目的とした全3部構成となっています。

介護従事者に限らず、家族に認知症の人がいる方、認知症のことについても詳しくは、県立介護実習普及センター（電話055・254・8680）にお問い合わせください。

福祉人材センターニュース

介護・福祉の現場で求められる人材とは

高齢社会の到来で、介護のニーズは急激に伸びています。こうした中で求められるのは、質の高い介護職員の確保です。優れた人材の育成や定着は、サービスを受ける利用者の満足度を高め、施設の安定的な運営にもつながります。

東北福祉大学が福祉施設に行った調査によれば、「求める人物像」のキーワードとして「行動力」「傾聴」「チームワーク」「協調性」が上位を占めました。性格に関するキーワードでは、「思いやり」「明るい」「人間性」

などが挙げられました。調査結果からは、福祉の現場が求める職員像は「専門性」はもちろんです。一般社会で広く求められる能力と変わりがありません。

一方、福祉・介護現場では人手不足が続いています。原因の一つは、高い離職率です。平成21年に介護労働安定センターが行った調査では、離職者の7割以上が就職して3年未満で職場を離れています。その背景として、求職者が抱く職場のイメージと事業主が求める人材像にギャップが生じていることがわかりました。

求職者が現場を体験

山梨県福祉人材センターでは、こうした求職者と事業主とのギャップを解消するために、求職者に現場を体験する機会を提供する「職場体験事業」を実施しています。実際に職場の券

困気や業務内容などを、直接体験できる絶好の機会です。

この事業を活用して介護現場を体験している瀧口順香さんと堀田稔さんを、受け入れ施設の東甲府ケアセ

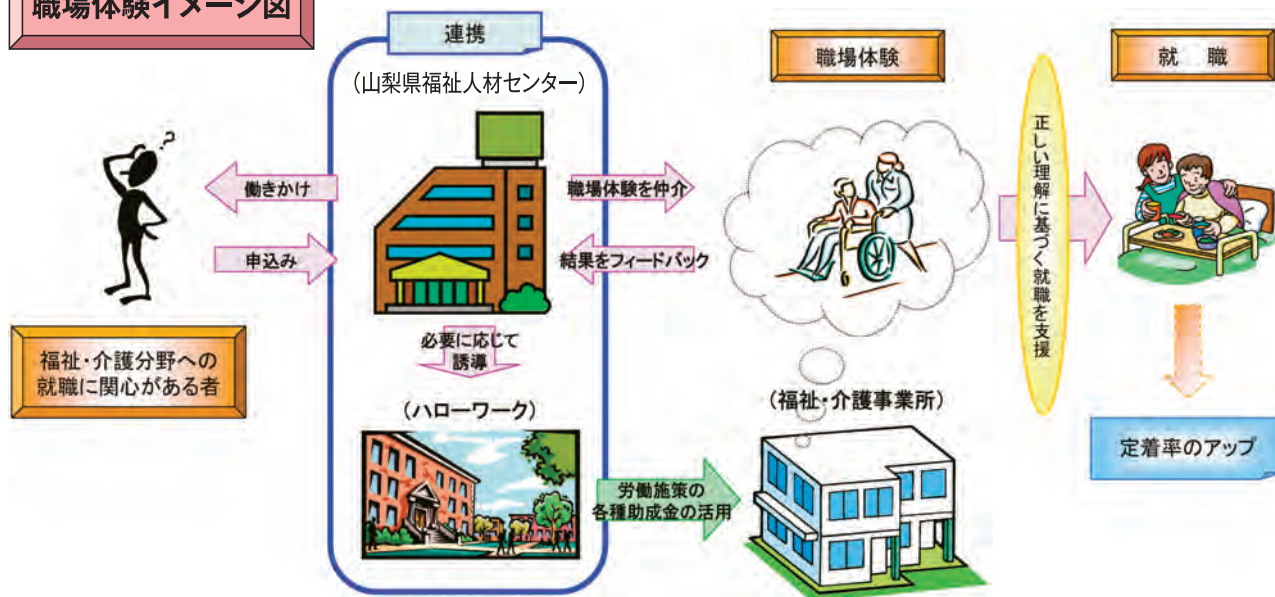
ンターのひばりデイサービスセンター（甲府市川田町）に訪ねました。

利用者に聞く

訪問した日は、二人とも

最終日の活動を終え、職員とミーティングをしていました。

職場体験イメージ図



特集 東日本大震災

岩手・釜石市で聞いた 被災者支援

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。岩手県釜石市で、被災者の生活再建に向けた活動を続けている地元の民生委員児童委員と生活支援相談員の代表者にインタビューしました。

町内会や行政と連携深める

—3月11日のことを思い出してください。

「盛岡で岩手県民生委員児童委員協議会の会議中でしたが、すぐに釜石に戻りました。当日の夕方には各地域の小学校や公民館などに避難所が立ち上がっており、民生委員児童委員も運営を手伝いました」

もらいました。行政などの緊急物資が十分に届くまで避難所への支援を続けました」
—想像を超える困難があったでしょうね。

「釜石市には8地区ありますが、沿岸部の4地区は津波で大きな被害を受けました。住民がほとんどいなくなってしまう地域もあります。民生委員児童委員の仲間も避難所や仮設住宅で暮らしているので、厳しい状況が続いています」

—今後の活動は。

「釜石市では50戸以上ある仮設住宅には談話室など憩いの場が設けられています。しかし、50戸未満でも支援の場が必要な人たちはいます。介護施設も被災している

高橋 利徳さん
(釜石市民生委員
児童委員協議会長)



ので、サービスを受けるだけでも受けられない人もいます。地域にある空き家などを利用すれば、憩いの場が確保できるのでは。町内会や行政と協働する形で、継続して支援していきたいと思います」

高田 健二さん
(釜石市社会福祉協議会
統括生活支援相談員)



助け合える 環境づくりを

—生活支援相談員の仕事について教えてください。

「仮設住宅や民間アパートに入居している被災者を訪ね、福祉ニーズの聞き取りをします。必要とするサービスを関係機関と調整し、提供しています」

—具体的には。

「先日、ある仮設住宅で、お年寄りから『歩いていけるところに買い物ができる施設がない』との訴えが寄せられました。私たちは、こうした声をまとめ、行政に対応してくれるように働きかけていきます」

—大震災はコミュニケーションにも大きなダメージを残したそうですね。

「仮設住宅に暮らす人と、その周りの住民との間に、つながりがない場合があります。私たちはイベントなどを企画して、お互いが助け合える関係のきっかけを作っていきたい」

—どんな課題が見えてきましたか。

「民間アパートに入居している被災者は、個人情報保護の取り扱いなどが絡んで特定ができず、個別訪問を妨げています。また、仮設住宅では、市やNPO団体なども聞き取り調査を行っています。情報を、お互いにどう共有していくかも課題です」

—今後の活動は。

「個別のケース支援について、ほかの団体とも協議しながら、早く自立できるように支援を探っていきたいと思います」

全国170万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ボランティア活動
のための
学習会・会議など
での事故も補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK

天災タイプでは
地震・噴火・津波による
ケガもOK



年間
保険料

Aプラン... **280円**

Bプラン... **420円**

天災タイプもあります。

※各プランの補償金額、補償内容
などの詳細は、専用パンフレット
をご用意しておりますので、取扱
代理店にお問合せください。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

●行事参加者(主催者〔個人〕を含みます。)全員のケガを補償(往復途上も含みます。) ●行事主催者の損害賠償責任も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含みます。)
- 地域福祉サービス
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

世代を超えて 交流深める

いきいき山梨
ねんりんピック

高齢者を中心に、子どもから大人まで世代を超えて交流を深める「いきいき山梨ねんりんピック2011」（同実行委員会主催）が9月24日、甲府・小瀬スポーツ公園をメイン会場に開催されました。

19回目となった今大会は、テニスやソフトバレーボールなどのスポーツ交流大会、囲碁、将棋などの文化交流大会など計24種目に約4200人が参加。爽やかな秋晴れのもとで、親睦を深めました。

会場内には、自分の健康をチェックする「健やか山梨21★国保いきいき広場」や「健康ウォーキング教室」「昔の遊び・創作コーナー」などもあり、たくさんのお親子連れでにぎわいました。



「それ、入れ！」（輪投げ）



「絶好のボールだ」（ソフトテニス）

秋晴れの中を走る（サイクリング）



魔玄一族にかまっちゃった（甲州戦記サクライザーショー）



次の一手は…（囲碁）



サクライザー体操、やるじゃんけ！（甲州戦記サクライザーショー）



勝利を目指してナイスパス！（サッカー）



地元の小学生と楽しくふれ合った



緊張感が張り詰める試合の行方は…
(なぎなた)



ぴったり息の合ったダブルス（卓球）

ゴルフや将棋で活躍

ねんりんピック熊本大会

134人
県選手団

高齢者らがスポーツや文化を通じて交流を図る「第24回全国健康福祉祭くまもと大会（ねんりんピック2011熊本）」が10月15日から18日まで、熊本県内の9市4町で開かれました。

山梨県からは石川豊団長（県社会福祉協議会会長）ら134人が参加し、各競技で交流と熱戦を繰り広げました。開会式では、旗手の山崎信男選手（ゲートボール）を先頭に、風林火山の手旗を高々と掲げ、元気に入場行進しました。県勢は18種目に参加し、ゴルフが団体優勝、サッカーと将棋で準優勝、ソフトバレーボールは3位、その他の種目でも優秀賞などを受賞しました。

文化部門の「美術展」では、洋画の部で服部町子さん（甲州市・65歳）が銀賞、書の部で原正美さん（甲州市・75歳）が銅賞を受賞し、健康長寿県・山梨を全国にアピールする大会となりました。

〈ねんりんピック2011熊本大会 山梨県勢の主な成績〉

入賞状況	種目名	受賞者またはチーム名
優勝	ゴルフ(団体戦)	山梨県チーム (大村静男・下里裕・渡辺勝明)
準優勝	サッカー(Lブロック)	山梨グランドシニア60
準優勝	将棋(飛龍の鐘ブロック)	米長 泰(富士川町 75歳)
準優勝	将棋(同田貫ブロック)	関川 薫司(富士吉田市 63歳)
第3位	ソフトバレーボール (1位リーグ第4ブロック)	笛吹A
優秀賞	ゴルフ(Aブロック第7位)	下里 裕(笛吹市 62歳)
優秀賞	ゴルフ(Bブロック第8位)	渡辺 勝明(富士河口湖町 76歳)
優秀賞	マラソン(女子3km4位)	込山 美恵子(甲府市 70歳)
優秀賞	マラソン(男子5km7位)	原 勇公(甲府市 72歳)
優秀賞	マラソン(男子10km6位)	佐藤 芳寛(富士吉田市 71歳)
高齢者賞	囲碁	岩間 ムツミ(笛吹市 82歳)
高齢者賞	ソフトボール	相原 幸三(南アルプス市 82歳)



キックミットを手にする渡辺光美さん



「横断歩道を渡る前に、まず両手を上げて呼吸を整えましょう」

忍野村で開かれた交通安全故防止のための講習会。会場を埋めたお年寄りを前に、渡辺光美さん（46歳、甲府市国母1丁目）が声を張り上げました。

「今度は転ばないように、足腰を強くする運動です」
年を重ねると、膝が上

リズム・オブ・ラブ主宰 渡辺 光美さん

「お年寄りの場合は、分かりやすく『足太鼓』と呼んでいきます。足の甲で太鼓をたたき感じですから」

打楽器に見立てたのは、韓国の格闘技テコンドーで使う練習用のキックミット。蹴り上げると、大きい音と振動が伝わります。ストレッチも一気に吹き飛びそうです。

渡辺さんとテコンドーの出会いが10年以上前にさかのぼります。小学校3年生だった

らなくなってきました。そこで、渡辺さんは音楽に合わせ、足首や股関節を柔らかくするお手本を示します。準備運動を終えると、メーンの『ミットパーカッション®』です。初めて耳にする人がいるかもしれません。渡辺さんが考案した山梨生まれの健康安全プログラムです。

命を守る健康運動/子どもから老人まで



足腰を強化して転ばない体づくりを指導する渡辺さん

長男がテコンドーを習い始めました。見学に行くと、その軽快な動きに圧倒されたそうです。「リズムミカルで、ダンスを踊っているように見えました」華麗な足技と音楽を融合させてみたら。そんな思いが高じて誕生したのが『リズムテコンドー』でした。2002年のことです。

「テコンドーは、相手との2分間の勝負をどう詰めるかです。勝負が決まります。そのためには、蹴り技だけでなく、華

麗なステップが必要になります。このステップの動きがエクササイズに使える、と思ったのです」

当時は大阪の池田小で起きた児童殺傷事件の直後でした。小学校の教員だった渡辺さんは、子どもたちを事故や事件から守るために普及活動に乗り出しました。

初めは幼稚園や保育園、小学校などで、親子を基本とした出前講座を展開。次第に障がい者や高齢者へと対象は広がっていききました。今年は交通事故死の大半を占める高齢者に対する安全啓蒙活動に力を入れていきます。

難しい動きが少なく、誰でも身近なところで楽しめるリズムテコンドー。冠の「リズムム」は、母親の心臓の鼓動だそうです。

「この世に生を受けて最初に耳にするリズムが、お母さんの心臓の鼓動。私たちの原点です。リズム・オブ・ラブの活動は、かけがえのない命を大切にしたいという願いが込められています」

あやめの里

園児たちと触れ合いの輪を広げる

福祉施設
訪問



園児と仲良くタマネギ掘りをする入居者

「あやめの里」は甲斐市富竹新田にある軽費老人ホームです。入居者の平均年齢は83歳。家庭環境や住宅事情で家族との同居が難しい高齢者が共同生活しています。入居者は、音楽や趣味などの自主的な活動や行事を楽しみ、生きがいとなっています。20年以上にわたって、「同じ法人系列の『てんとう虫グループ』が運営する保育園や幼稚園と交流を続けています。創立記念日や秋祭り、どんど焼きなどの交流行事をはじめ、自主農園での野菜づくりなどを通して触れ合い

ます。あやめの里は、花言葉である「敬愛」の気持ちを大切に、これからもより深く交流ができる施設を目指しています。

和成保育園の深沢久江園長も「子どもたちに温かい愛情をいっぱい注いでもらっている」と話しています。



創立記念日には、園児から手造りのメッセージが届く

を深めてきました。また、入居者全員で自治会を構成。会費を集めて、園児たちが来た時のプレゼントを買ったり、会の運営などに使ったりしています。

施設概要

施設名 社会福祉法人 甲西厚生会
軽費老人ホームA型 あやめの里
住所 〒400-0113 甲斐市富竹新田1967番地
連絡先 TEL 055・279・0054 FAX 055・279・6234
URL <http://www.jsyamanashi.jp/ayamenosato>
設立 昭和58年12月

敷地面積 4,651.37㎡
延床面積 1,910.95㎡
建物構造 鉄筋コンクリート3階建て
定員 50人（1人室46室、夫婦部屋2室）
関連施設 てんとう虫グループ「社会福祉法人 和成保育園」「学校法人 貢川幼稚園」



小さな芸術家たち

「第31回児童文化奨励絵画展」から
(全国児童養護施設協議会主催)

- <県代表作品>
- ◇題名：「くまとさかな」
- ◇施設名：クローバー学園
- ◇学年：小学2年
- ◇審査員のコメント：色彩豊かに描かれ、楽しさが感じられる

ちよつと寄り道



山縣神社

学問の神様として有名

甲斐市篠原にある山縣神社は、学問の神様として有名な神社です。「あやめの里」の利用者もグループで散歩を楽しみながら訪れています。武田信玄の家臣山縣昌景の子孫で儒学者の山縣大式が祭られています。神社創建から90年が経過した神社の境内には小川が流れ、子どもたちもよく遊んでいます。参道の途中には山縣大式の墓や筆塚もあります。歴史探訪に寄り道してはいかがでしょうか。

お知らせ



福祉の
相談窓口

(第3回)

山梨県福祉プラザ（甲府市北新1-2-12）内にある相談窓口を紹介します。

今回は「山梨県立こころの発達総合支援センター」です。

■何をするとおこすところですか？

こころの問題を抱えた子ども、発達の偏り（こだわり、パニックなど）や発達の遅れがある人、その家族、支援する方々を支援する専門機関として、平成23年4月に開設されました。

■どんな相談にのってくれますか？

子どものこころの問題や、「落

ち着きがない」「子どものかんしゃくで困っている」といった子どもの発達のこと、発達障害児者の日常生活全般に関することなどのご相談を受け、相談支援、発達支援、就労支援及び情報提供を行っています。

子どものこころの問題に関することは、18歳未満まで、発達障害については年齢を問わず受け付けています。お気軽にご相談ください。

また、医療、保健、福祉、教育、労働などの発達障害にかかわる関係機関へのコンサルテーション（助言）も行っています。

■だれが相談にのってくれますか？

精神科医師、保健師、作業療法士、心理士、ケースワーカー、

精神保健福祉士が相談・支援にあたります。

相談時間：面接相談及び診療は完全予約制です。まずは電話でご相談ください。電話相談は、月曜日から金曜日（祝祭日、12/29～1/3を除く）の午前8時半から正午、午後1時から5時15分までです。

電話 055・254・8631

FAX 055・254・8632

相談は無料です。精神科医師による診療は、医療費がかかります。

なお、福祉プラザ以外にも都留児童相談所内及び富士ふれあいセンター内の各相談室で相談に応じています。

案内

児童虐待防止研修会

山梨県は、児童虐待問題を広く県民に知っていただくため、研修会（無料）を開催します。児童虐待の防止、及び虐待を受けている子どもについて理解と認識を深めることで、県民一人ひとりが積極的にこの問題とかわることができるようにするのが狙いです。

●研修日程

平成23年11月29日（火）
※午後1時30分～4時30分

●会場 山梨県立文学館講堂

●内容

①行政説明「民法等の一部を改正する法律」の施行について

講師：厚生労働省雇用均等・児童家庭局 総務課

虐待防止対策室

②講演「虐待が子どもに与える心理的影響を理解し、子どもたちのSOSを早期にキャッチするために（仮）」
講師：山梨県立大学人間福祉学部 西澤哲教授

●問い合わせ先

山梨県福祉保健部
児童家庭課（児童養護担当）
電話055・223・1457

11月は「児童虐待防止
推進月間」です



報告

善意をありがとう

NPO法人モバイル・コミュニ

ケーション・ファンド（中村維夫理事長）様から県社会福祉協議会に対して、500,000円の



NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンドの中村維夫理事長(右)から寄付金を受け取る県社協の窪田守忠常務

ご寄付をいただきました。同団体からの寄付金は、累計で41,500,000円となります。

寄付金は山梨県民間社会福祉基金として積み立てます。

また、その一部を予算化し、福祉救済などの事業を実施するために活用させていただいています。ありがとうございます。

【担当】県社会福祉協議会総務企画課 電話055・254・8610